

海外派遣留学生  
留学報告書

学部学科:	政治経済学部経営学科		学年※留学時:	4年
留学先:	国:	オーストラリア	大学/機関:	西オーストラリア大学
期間:	2024年8月17日 ~ 2024年9月15日			
	短期		計 1ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数: 80時間 (週20時間×4週)
- ・科目名: 英語

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:45	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

- ・クラス人数18名(日本人12名、中国人6名)
- ・1コマ120分×2コマ
- ・留学前に実施したプレースメントテストの成績によるクラス編成
- ・3週目と4週目にテスト(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)
- ・テキストは現地で配布
- ・PCやタブレットを週1回程度使用(使用の有無はクラスによる)
- ・テキストの内容を中心に講義が行われた。ペア or グループワークが非常に多かったので、自分の考えを述べる機会が多かった。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

平日の多くはパース駅周辺で友達とランチをしました。休日はパースの観光地を訪れました。キャバーシャム・ワイルドライフ・パーク(動物園)が一番印象に残っています。他には、ロットネスト島やフリーマントル、水族館も有名な観光地でいい思い出でした。平日の時間がある日は、美術館・市営図書館・海にも行きました。それ以外にも学校主催のバスツアーでいくつかの観光地を訪れました。繁華街には Bar もたくさんあり、週末は友達やホストファミリーとお酒を飲みに行くことが多かったです。

海外派遣留学生  
留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

・カフェテリア

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋1人で使用

様子:

両親のバックグラウンドがともにヨーロッパの一般的な家庭に滞在(4人家族+猫1匹)。家族は皆、穏やかな性格でコミュニケーションをよく取ってくれる方々でした。留学生は自分一人でした。食事は毎食美味しくいただきました。与えられた家事はなく、家のルールもほぼなく悠々自適に過ごせました。シャワータイムに制限はなかったが、短時間で済ませるように配慮しました。洗濯は週1回でした。困ったことはなかったですが、自分の意思はその都度しっかりと伝えました。ホストファミリー選定の際の要望書で、ある程度の希望を述べたことが良い方向に影響したのかと思います。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

- ・他国籍、他大学の友達と交流できたこと
- ・多くの観光地を巡れたこと
- ・多くの文化や自然、動物と触れ合うことができたこと
- ・現地の方と英語でコミュニケーションを取れたこと

● 苦労したこと:

- ・バスの乗り方について

現地のバスは次停車駅などのアナウンスが一切ないので、漫然と乗っていると目的地のバス停を通過してしまうことがあります。特にバス登校だったので慣れるまでは苦労しました。しかし、目印となる建物を見つけたり、スマホのマップを使えば一人でも問題なく利用できる必要以上に心配する必要はありません。(Googleマップには数え切れないほどお世話になりました)

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

リスニング能力は向上したと実感します。目に見える形での能力の向上は微々たるものかもしれませんが、語学学習のモチベーション向上や新たな目標を発見することができました。

2) 専門知識の向上:

特になし

3) 自己成長など

現地人の生活スタイルや感性、現地の文化、自然や芸術などに触れることができ、生活のあらゆる側面で「自分がどのような人生を送りたいか」ということを考えるきっかけになりました。

海外派遣留学生  
留学報告書

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学を迷っている方へ

留学への希望が心のどこかに少しでもあるようなら、チャレンジすることをお勧めします。留学時期に早い遅いは決してないです。また、留学期間の長さにも固執する必要もないと思います。

(もちろん長ければその分経験できることは多いと思いますが)

留学を決めている方へ

渡航前の事前のリサーチや準備はしっかり行った方がいいと思います。(特に短期留学)

現地に着いてから何をしようか考えている間に限られた時間はあっという間に過ぎ去ります。

今は SNS や YouTube などでは情報は入手できるので、学校からの情報+@の情報は自ら掘りにいくことをおすすめします。

共通

○服装

夏季出発の場合、現地の8月は寒かったです。9月になると日中は暖かい日が増えて快適に過ごせました。(8月はほぼ毎日スコールのような雨が降りました)寒がりの方は対策した方がいいと思います。

○水

オーストラリアでは、水は日本以上に大切な資源として考えられています。他学生の報告書からも窺えるように家庭によってはシャワータイムが決まっていることもあります。節約志向ということではなく、それが現地の文化だということを理解しておくといいと思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	804,810
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	約 50,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	約 100,000
現地からの奨学金がある場合	—
お土産代や個人的な買い物	約 150,000
その他( SIM )	約 7,500
留学に関する費用の総額	約 1,112,310